

平成 25 年（2013 年）1 月 18 日

西宮市教育委員会
教育委員長 井ノ元 由紀子 様

西宮市社会教育委員会議
議長 赤尾 勝己

新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点としての
今後の図書館のあり方について（答申）

平成 24 年（2012 年）7 月 20 日付西教委社教発第 56 号諮問のあった標記の件について、当会議では 4 回の討議を重ね、慎重に検討を行ってまいりました。この度、結論を得ましたので、別紙のとおり答申します。

西宮市社会教育委員（議長）	赤尾	勝己
〃	（副議長）羽田	英彦
〃	白井	弘一
〃	柏崎	真由美
〃	田原	昭男
〃	田中	良和
〃	中島	靖浩
〃	中西	ヒロ子
〃	森	郁子
〃	宮本	知子
〃	宮本	久美子
〃	湯浅	裕子

別紙

「新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点としての
今後の図書館のあり方について」

西宮市社会教育委員会議

目次

はじめに	1
図書館の現状と取り組み	2
地域の課題解決に役立つ情報拠点としての図書館	3
図書館運営における市民参画と協働	4
1 市民が図書館運営に参画・協働する仕組みづくりの必要性	
2 市民が図書館運営に参画・協働する仕組みの方向性	
学校図書館との連携強化	6
1 学校図書館へのアンケート結果	
2 学校図書館への支援の方向性	
まとめ	7
資料	
1 西宮市図書館 集会行事・事業実施状況（平成 23 年度）	12
2 中核市図書館一覧	14
3 学校図書館アンケート調査まとめ	15
4 子ども読書習慣定着のための環境整備	17
5 西宮市の学校図書館	18
6 これからの図書館像 - 地域を支える情報拠点をめざして -	19

はじめに

平成 18 年 3 月、文部科学省「これからの図書館の在り方検討協力者会議」により報告された「これからの図書館像」では、図書館に対して「地域をささえる情報拠点を目指して、地域や住民にとって役に立つ図書館として存在意義を確立」することが求められている。

今日の図書館には、国際化、科学技術の進歩、情報化の急速な進展や少子高齢化、学習者の多様なニーズなど新しい時代に対応する機能に加え、情報の電子化、指定管理者制度といった図書館の管理運営に関する検討や司書の役割の強化など職員の資質向上への取り組みをとおり、地域や住民にとって役立つ図書館機能を備えることが求められている。

このたびの諮問では、1 点目は「図書館の管理運営における市民参画と協働」と 2 点目は「学校図書館との連携強化」のあり方について社会教育委員に意見を求められている。

社会教育委員会議では、西宮市の図書館が目指す「図書館像」を確認しながら、1 点目の「図書館の管理運営における市民参画と協働」については、主に図書館が設立を目指す「図書館友の会」と既存の図書館ボランティアとの関係や図書館を支援する仕組みづくりについて協議した。

2 点目の「学校図書館との連携強化」のあり方については、子どもが文字と接する機会が身近にある学校図書館の役割が重要であることや子どもの読書活動推進の視点に立ち、学校図書館がその機能を十分に担うために必要な図書館の役割について協議した。

本答申では、西宮市の図書館には、新しい時代に対応し、地域や市民に役立つ図書館になるために、図書館に市民の様々な経験、知識、技能を生かした図書館を支援するボランティアの参加を呼びかけ、そしてそのボランティア活動の中で培った新たなものを他者や自身の生涯学習に役立ててもらおう仕組みをつくることにより、地域の課題解決に役立つとともに「地域をささえる生涯学習推進の拠点」としての機能強化を図ることが必要と考えた。

西宮市の図書館では貸出冊数が、全国平均の市民 1 人当たり 5.4 冊（平成 22 年度）・中核市平均 5.1 冊（平成 22 年度）に対して西宮市 8.2 冊（平成 22 年度）と高水準であり、平成 22 年度に導入したインターネット予約システムの稼働とともに予約件数が 3 倍に増加している。

社会教育委員会議は、今後も西宮市の図書資料の回転率をトップクラスの水準を維持するとともに、新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点としての図書館の機能を充実させることに期待を寄せる。

図書館の現状と取り組み

西宮市の図書館は、中央・北部・鳴尾・北口の4拠点館と越木岩・段上・上ヶ原・甲東園・高須・山口・若竹の7分室で構成されており、従来より図書館が担ってきた役割（館数や貸出冊数など数量的な指標）としてのサービス水準は、中核市や阪神間の他市と比較しても劣ることはないと考える。

その一方、電子媒体などハイブリッド図書館（注1）への積極的な取り組みや地域の実情に応じた情報提供サービスや地域の問題解決へ向けた支援など新たな視点での取り組みが必要であり、それが地域にとって役に立つ図書館へつながると考える。

市民参加では、おはなしボランティア、対面朗読ボランティア、美化・緑化ボランティアなどが活躍しているが、そうした活動以外にも新たな取り組みも行われている。

鳴尾図書館では、「なるおとしょかんこども夏祭り」をボランティアと一緒に企画から運営まで協働して実施されており、将来は地域の祭りとして定着していくことを願っている。

中央・北口図書館では、新たなボランティアの発掘と図書を大切にする意識を高めるために「図書修理のボランティア」を募集したところ、定員を遥かに超える応募があり、西宮市民の市民性（注2）の高さを再認識した。

西宮市の図書館では、視覚障害者図書館や公民館のボランティアグループの協力を得て、視覚障がいのある人への録音図書の制作や絵本の点訳化に取り組んでいる。

図書館システムは、学校図書館の蔵書検索システムと連携し、学校図書館から行う図書館の蔵書検索・予約機能の強化を図った。

また、図書館は人的ネットワークづくりの必要性から、4拠点館で活動している図書館ボランティア参加者を対象として、他市の図書館の見学会や交流会を行った。今後は、図書館への理解を深め、ボランティア相互の交流をとおして、ボランティアと図書館が自由に意見交換できる仕組みを設けたいと考えている。

（注1）ハイブリッド図書館とは、アナログ資料（紙の資料）とデジタル資料（電子図書やCDなど電子媒体）の混在型図書館をいう。

（注2）市民性とは、市民力を発揮するために必要な資質であり、市民個々が有する知識、経験、技能そのものや市民自ら社会参加する意識である。

地域の課題解決に役立つ情報拠点としての図書館

地域の課題解決に役立つ情報拠点として図書館はどうあるべきか。「これからの図書館像」(注1)では、市民の生活や仕事、自治体行政、学校、産業など各分野の課題解決を支援する相談・情報提供の機能の強化をあげている。

図書館には図書資料を中心とした知的インフラが備わっており、それらを活用して自らの問題の解決に取り組もうとする市民を支援することができる。その内容は、就業など職業に関する支援、医療など健康に関する支援、育児など子育てに関する支援、自殺防止など心の支えに関する支援など、豊富な図書資料から多様な支援が可能と考えられる。

例として、保健所が自殺予防週間や自殺対策強化月間を実施している、自殺やうつ病などの心の健康に関連する展示に併せて、図書館では、自殺対策事業の標語である「気づく・つながる・支えるいのち」をテーマにしたブックフェア(注2)を実施している。

今後は、ハローワークなどの関連部局と連携した貧困・困窮者支援の「図書館海援隊」(注3)やビジネス支援も考えられる。こうした多様な支援が、公民館などと連携することにより、地域の課題解決に貢献する情報拠点として市民生活の身近な場所での情報提供にもつながるものとする。

また図書館は、館内に利用者が自分のおすすめ図書を置ける棚やコーナーがあれば、図書を通じて人と人とのつながりが生まれる可能性を有している。さらに、図書館に寄せられた要望への回答を掲示するコーナーの設置、調査・相談コーナーに寄せられた事例を集めたレファレンス事例集やパスファインダー(注4)の発行など課題解決に役立つと考えられる提案に積極的に取り組むことが必要である。

(注1) これからの図書館像とは、これからの図書館の在り方検討協力者会議(文部科学省)より平成18年3月に報告されたもので、地域や市民にとって役に立つ図書館へと変わっていくための指針を示している。

(注2) 自殺対策事業と連携したブックフェアの様子

(注3) 平成22年1月から、貧困・困窮者対策など、地域の課題解決に取り組んでいる図書館を文部科学省がホームページで「図書館海援隊」として紹介している。

(注4) パスファインダーとは、特定のテーマについて図書や情報の探し方をまとめたリーフレットをいう。



すなわち、図書館には、地域の課題解決に役立つ情報拠点としての機能強化とともに図書館

を中心として、地域の連携や広がりについての機能を有する方向性も必要と考える。

市内には 10 大学があり、その大学と連携を行い、企業の情報、自治会や青少年育成団体など地域に密着した情報なども図書館から発信すれば、図書館は市民が求める新鮮な情報が手に入る施設となり、新たな層の来館者により、にぎわいが生まれる。可能であれば、市民が自由に談話できるスペースの設置も検討願いたい。

表現を変えれば図書館には、市民が求める知的資源の集積・発信機能と市民の多様な課題解決につなぐ機能を有した拠点としての道を目指してもらいたい。図書館は、このような視点の取り組みにも目を向けることが必要ではないか。



平成 23 年 3 月に鳴尾図書館で行われた
「なるおとしょかんりレーおはなし会 紙芝居ばかり」の風景

図書館運営における市民参画と協働

1 市民が図書館運営に参画・協働する仕組みづくりの必要性

図書館には、市民が図書館運営に参画・協働する仕組みとして、市民の意見（声）を図書館運営に反映させる受け皿が必要である。そのためには、図書館運営に市民が参画でき、自主・自立による運営を図り、図書館と対等の立場で自由に意見交換できる仕組みを備えることが重要である。

2 市民が図書館運営に参画・協働する仕組みの方向性

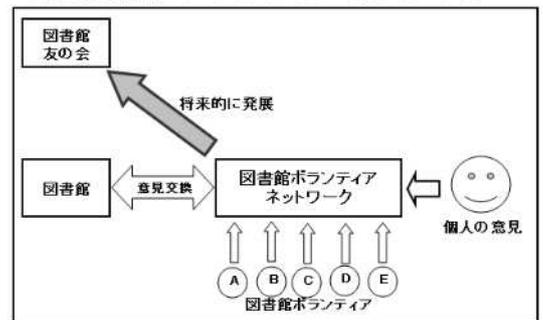
図書館には、多くの図書館ボランティアが活動しており、そのボランティアを対象に、図書館活動への理解とボランティア相互の交流を深めるため、他市図書館の見学会や交流会を行っている。

社会教育委員会議は、その交流会をボランティアと図書館が自由に意見交換できる場として位置づけ図書館ボランティアのネットワークを構築し、将来的には、「図書館友の会」に発展させることが望ましいと考える。また、西宮市の図書館にとって、図書館に関して高い意識を持った市民によるボランテ

ィア活動が行われることは心強い。なお、図書館ボランティアのネットワークを設立する際には図書館ボランティアからだけと限定することなく、図書館に思いを持つ個人が参加できるようにすることが重要である。図書館には、その点を考慮した仕組みづくりを実現してもらいたい。

社会教育委員会議は、「図書館友の会」を図書や図書館に対して思いを寄せる市民が自主的に集まり、読書活動の振興のため自ら学習会、講演会、見学会等の企画・開催や活動の広報、公共機関への働きかけ、その他、目的のために必要な活動を自立して行うものとする。このことより、「図書館友の会」の設立は、もう少し時間を掛けて検討されることを望む。

【(仮称) 図書館ボランティアネットワーク】のイメージ図

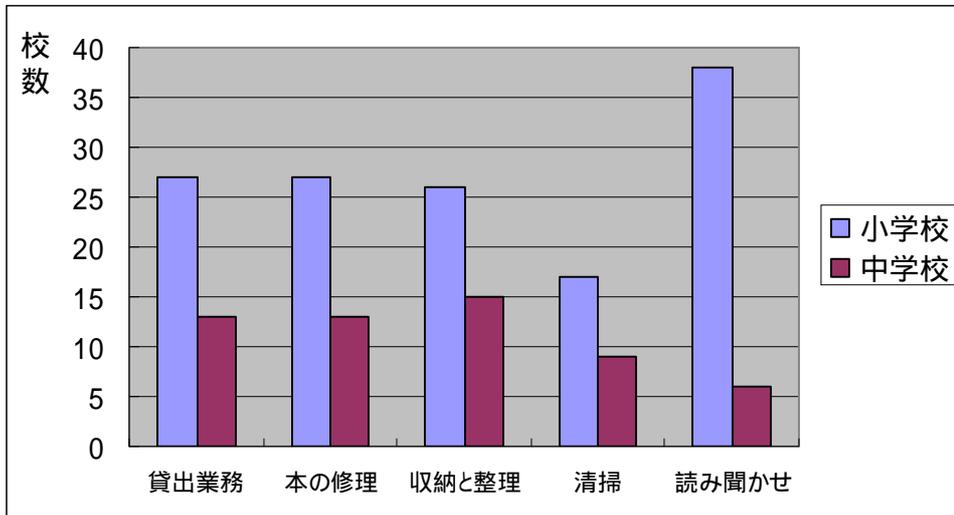


学校図書館との連携強化

1 学校図書館へのアンケート結果

平成 24 年 5 月下旬に図書館が、全公立小中学校にアンケートを実施した。学校図書館は、平日にほとんどの小中学校で開館している。昼休みは全ての小中学校において、いずれかの曜日で開館している。ほとんどの学校図書館の運営には学校図書館ボランティアが関わっており、その中心は保護者が担っている。また、卒業生の保護者の協力を得ている学校も 19 校ある。学校図書館ボランティアの数は多くの学校では 20～30 人であったとの結果を得た。

アンケート結果からの抜粋 「2 学校図書館の運営について (2) どのような活動を行っていますか。」



2 学校図書館への支援の方向性

社会教育委員会議は、子どもにとっていつでも開館している学校図書館が望ましいと考える。そのためには、学校図書館の運営体制が整備されることが重要であり、西宮市の図書館が、学校の図書館教育担当者や学校図書館指導員、学校図書館ボランティアへの講習会を企画したり、助言により間接的な援助を続けることが大切である。

子どもが図書に親しめるよう支援することや、学校図書館で把握した子どものニーズを西宮市の図書館に生かすことも重要である。また、各学校の学校図書館ボランティアが、他校の学校図書館ボランティアと交流したり、活動を見る機会が必要と考える。

学校図書館の担当者からは、「西宮のローカルデータ(昔話や書物)を貸出してほしい」、「団体貸出期間の延長や、貸出数を増やしてほしい」、「配慮の必要な子どもへの図書は、現在、西宮養護学校から借りているが、西宮市の図書館にも協力してほしい」という要望がある。

まとめ

西宮市の図書館では、図書資料等の貸し出しサービス以外に、推薦図書を選定した冊子「読んでごらん おもしろいよ」の発行などの子ども向けサービス、CDなどの視聴覚資料の貸出や館内視聴ができる視聴覚サービス、視力障がい者への対面朗読や図書資料の郵送貸出を行う障がい者・来館困難者向けサービスなど、あらゆる層の市民ニーズに対応した様々なサービスに取り組んでいる。

平成 17 年度に社会教育委員会議が行った答申『社会教育施設における指定管理者制度について』において、「図書館分室の開館時間の延長」など図書館サービスの向上の提言についても、平成 19 年度からは分室を民間事業者に委託し、祝日・休日の開室や開室時間の拡大など市民サービスの改善を図っている。平成 20 年度からは各種データベースを使用した新聞・雑誌・法律などが検索できる調査（レファレンス）サービスを新たに導入している。また、平成 23 年 10 月の図書館システムの更新時にあわせ、子ども向け画面の新設や外国人の利用に対応した多言語表示等ホームページを改修するなど、独自に情報化サービスの向上を図っている。

本答申では、「はじめに」で述べたように、諮問である「図書館の管理運営における市民参画と協働」と「学校図書館との連携強化」のあり方の 2 点を中心に協議を進めたが、新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点の役割や位置づけを踏まえて、西宮市の図書館が目指す方向性について検討を行った。

以上のことから西宮市の図書館には、4 拠点館と 7 分室が担う機能や特色ある知的インフラを活用して、次のような視点に立った取り組みを検討していただきたい。

1 点目は、社会構造の変化に伴う課題の解決や子育てなど個人の悩み・相談に関する図書資料や地域事情に対応した多様な情報の提供を行うことである。このためには、地域情報のアーカイブ（注 1）化の推進や地域団体との連携強化がより求められる。図書館と地域の連携が進むことによって、市民の声がスムーズに届き、交流が生まれ、コミュニティの中心としての機能が高まると考える。

2 点目は、学校図書館との連携の推進である。学校図書館は、子どもの読書習慣やメディア・リテラシー（注 2）の力量を身につける最適な施設である。そのためには、学校図書館は、子

(注1) 記録や資料などをひとまとめにして保存することや、そのようにまとめられた資料群をいう。

(注2) 媒体(メディア)の特性や利用方法を理解し、メディアの情報を取捨選択して活用する能力をいう。

子どもが学校にいる時はいつでも開館していることが重要である。西宮市では昼休みを中心に平日は、ほとんどの学校図書館が開館しており、司書教諭や学校図書館指導員がボランティアと連携しながら、学校図書館の運営に加え、読み聞かせなど読書活動の推進の事業についても共同で行っている。言い換えれば、ボランティアの活躍は、学校図書館の現場で見られる「学校・家庭・地域の連携」の姿とも言えるのではないか。今後は、図書資料の長期貸出しなど学校のニーズを把握するとともに、図書館司書が積極的に学校へ訪問し、図書の修理指導やブックトークなど学校図書館の支援へつなぐ行動を期待する。

3点目は、利用者の要望など市民の声が、図書館運営に反映される仕組みづくりである。諮問では「図書館の管理運営における市民参画と協働」として意見を求められているが、地域や市民に役立つ図書館を目指すには、利用者である市民の声が、図書館運営に反映される仕組みが重要である。そのためには、図書館に寄せられた要望への回答を掲示するコーナーの設置やアンケートの実施などで市民ニーズの把握を行っていくことも必要である。また図書館には、読書会などの市民が気軽に学習成果を発揮できる場を提供する取り組みも継続していただきたい。

以上3点を踏まえ、社会教育委員会議は、従来より図書館が担ってきたサービスの水準を評価しつつも、新たに普及しはじめた電子書籍やメディア・ミックスなどのハイブリッド図書館への取り組みや地域課題に対応したサービスの強化、知的インフラである市内の10大学との連携の必要性を確認した。さらには、西宮市の図書館が市のキーワードである甲子園、日本酒といった地域情報などを集約、発信することによって生まれる“にぎわい”の姿が、地域拠点の新たな役割として西宮市のオリジナル(特色)になる可能性を見出した。このような視点に立った取り組みも検討していただきたい。

最後に図書館法第14条には、図書館サービスや運営について、市民や学識経験者などが幅広い見識で館長に意見交換ができる諮問機関として、図書館協議会の規定がある。しかし、設置義務が課されていないとはいえ、西宮市に図書館協議会は設置されていない。この現状を踏まえ、社会教育委員会議は本来ならば、約48万人の人口規模を有する西宮市ほどの地方自治体においては、図書館協議会が設置されてしかるべきであると考え、市民の声を図書館運営に反映させる仕組みとして、まずは、図書館協議会の機能を補完する受け皿組織として、西宮市独自に図書館ボランティアのネットワークを立ち上げることを提案したい。

今後は、図書館ボランティアのネットワークの活動を醸成すると共に、図書館協議会の設置について、しかるべき時に検討していただきたい。

おわりに

図書館は、社会教育施設の中でも、個人の生涯学習を支援するうえで、その果たすべき役割は極めて大きい。今後の図書館の管理運営には、常に利用者視点に立った方向性を意識し、限られた資源を見直し・配分することが、市民の生涯学習の拠点につながると考える。

また、図書館は市民が求める質の高いサービスを継続的に提供できるよう努めなければならない。そのために、図書館サービスの目標を定め、その達成状況の点検や評価を行い、結果などを市民に公開し、市民と図書館が協議を行い、図書館運営に反映する仕組みが必要と考える。

答申までの審議経過

開催日		審議内容
平成 24年	7月20日 (金)	諮問「新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点としての今後の図書館のあり方について」の受領、審議（これからの図書館のあり方について）
	8月10日 (金)	審議（学校図書館との連携強化について）
	10月19日 (金)	審議（図書館運営における市民参画と協働について）
	11月2日 (金)	審議（答申原案について）
平成 25年	1月18日 (金)	答申「新しい時代に対応した生涯学習推進の拠点としての今後の図書館のあり方について」の提出

資料

- 1 西宮市図書館 集会行事・事業実施状況（平成 23 年度）
- 2 中核市図書館一覧
- 3 学校図書館アンケート調査まとめ
- 4 子ども読書習慣定着のための環境整備
- 5 西宮市の学校図書館
- 6 これからの図書館像 - 地域を支える情報拠点をめざして -

(1) ビデオ映写会

館名	対象	回数	延べ人数
中央図書館	一般向け	27	605
	児童向け	15	89
	計	42	694
鳴尾図書館	一般向け	20	410
	児童向け	13	97
	計	33	507
北口図書館	一般向け	23	339
	児童向け	12	167
	一般・児童		
	計	35	506
合計		110	1,707

(2) 第22回市民読書会

作品：湊かなえ「告白」

実施館	回数	延べ人数
中央図書館	1	15

主催：西宮市内読書グループ懇談会

(3) 障害者読書交流会・百雀会

実施館	回数	延べ人数
中央図書館	11	45

(4) おはなし会

館名	対象	回数	延べ人数
中央図書館	0～2歳児向け	12	206
	幼児向け	47	385
	小学生向け	12	90
	計	71	681
北部図書館	0～3歳児向け	12	79
	幼児向け	24	176
	小学生向け		
	計	36	255
鳴尾図書館	0～2歳児向け	11	227
	幼児向け	45	239
	小学生向け		
	計	56	466
北口図書館	0～2歳児向け	11	362
	幼児向け	488	6,504
	小学生向け		
	計	499	6,866
山口分室	0～2歳児向け		
	幼児向け	12	99
	小学生向け		
	計	12	99
合計		674	8,367

【参考】各図書館のおはなし会

	日	月	火	水	木	金	土
中央図書館	毎月第3 14:00～ 小学生	休 館 日		15:30～ 幼児 (おおむね3～5歳)		毎月第3 11:00～ 0～2歳児と保護者	
北部図書館					毎月第2 11:00～ 乳幼児 (おおむね0～3歳) 第3.4.5 16:00～ おおむね3歳～ 小学生		
鳴尾図書館			毎月第1 11:30～ 0～2歳児と保護者	15:30～ 幼児 (おおむね3～5歳)			
北口図書館	11:00～ 15:00～ 幼児～小学生		11:00～ 15:00～ 幼児 (おおむね3～5歳) 毎月第4 11:00～ 0～2歳児と保護者	11:00～ 15:00～ 幼児 (おおむね3～5歳)	11:00～ 15:00～ 幼児 (おおむね3～5歳)	11:00～ 15:00～ 幼児 (おおむね3～5歳)	15:00～ 幼児～小学生
山口分室						毎月第2 15:30～ 幼児～小学生	

(5) その他事業

中央図書館	みんなでたのしもう！おはなしいろいろ～はるのまき～	4月17日	106人
	2011年度版「読んでごらん おもしろいよ」図書展示会	7月5日～10日	
	親子で楽しむストーリーテリング	7月30日	41人
	ブックフェア戦争関係資料展「戦争と教育」	8月5日～21日	
	夏のスペシャルおはなし会	8月24日	36人
	冬のスペシャルおはなし会	12月21日	73人
	親子で楽しむストーリーテリング	2月25日	29人
	「気づく・つながる・支えるいのち」自殺対策関連図書展示 健康増進グループとの共催事業	3月2日～18日	
計			285人
北部図書館	親子でつくろう！手作り絵本教室	7月29日	24人
	夏の特別おはなし会「こわーい話のおはなし会」	8月26日	15人
	児童センターハッピークリスマス	12月23日	15人
	リレーおはなし会	1月14日	35人
	児童センターよちよち広場	3月23日	10人
	音楽劇	3月30日	62人
	計		
鳴尾図書館	「スポーツ」の本のブックトーク	4月28日	5人
	鳴尾図書館成人対象講演会「タイガースの礎 若林忠志が見た夢」	5月14日	37人
	なるおとしょかん子ども夏祭り2011	8月11日	1,024人
	クリスマスイベント「クリスマスおはなし会」	12月8日	70人
	「気づく・つながる・支えるいのち」自殺対策関連図書展示 健康増進グループとの共催事業	3月20日～4月15日	
	リレーおはなし会「紙芝居ばかり」	3月28日	40人
計			1,176人
北口図書館	イタリアポローニャ国際絵本原画展関連のポスターと 絵本のブックフェア	4月20日～5月12日	
	ブックトークとおりがみ教室「つくって飛ばそう！ おりがみヒコーク」	7月29日	19人
	夏休み小学生のためのおはなし会	8月2日	50人
	夏のおすすめ図書展示「怪の世界へようこそ」	8月5日～19日	
	サマーキッズフェスティバル「みんな集まれ!!人形劇がはじまるよ」	8月23日	88人
	「気づく・つながる・支えるいのち」自殺対策関連図書展示 健康増進グループとの共催事業	9月2日～19日	
	クリスマスキッズフェア「みんな集まれ!!人形劇がはじまるよ」	12月13日	53人
	西宮北口ゆかりの歌「春の唄」の歌詞カードを作って歌おう！	3月27日	13人
計			223人
合 計			1,845人

リサイクル図書市民無料配布

	期 間	配布内容	配布冊数
中央図書館	10月27日～30日	雑誌を配布	3,828冊
北部図書館	12月7日～11日	成人・児童図書、雑誌を配布	7,903冊
鳴尾図書館	8月11日	児童図書を配布	348冊
	10月27日	成人図書・雑誌を配布	5,671冊
北口図書館	12月2日～4日	雑誌を配布	1,408冊
合計			19,158冊

資料 2

中核市図書館一覧表

		人口 (千人) a	拠点 館	分 室 等	計	23年度 当初		22年度		22年度		22年度		22年度 末		22年度		c/a		c/b	
						資料費 (千円)	順位	登録 者数 (千人)	順位	予約 件数 (千冊)	順位	購入 冊数 (冊)	順位	蔵書数 (千冊) b	順位	貸出数 (千冊) c	順位	人口1 人当 貸出 数	順位	図書 資料 回転 率	順位
1	旭川市	353	5	11	16	68,522	19	225	7	273	12	38,589	14	1,144	9	2,633	10	7.46	6	2.30	19
2	函館市	283	1	6	7	38,210	33	105	30	90	31	21,746	32	628	34	1,630	25	5.76	13	2.60	9
3	青森市	304	1	12	13	36,925	34	136	23	31	41	20,114	36	760	26	1,076	36	3.54	32	1.42	39
4	盛岡市	292	3	12	15	32,653	37	122	25	39	40	13,456	39	627	35	760	41	2.60	37	1.21	41
5	秋田市	323	5	1	6	23,093	40	37	39	80	34	8,246	41	616	37	791	40	2.45	38	1.28	40
6	いわき市	349	6	0	6	41,303	29	75	34	134	25	27,940	27	668	32	1,608	28	4.61	23	2.41	15
7	郡山市	334	4	46	50	70,442	18	64	37	80	34	30,662	24	831	24	1,458	32	4.37	26	1.75	35
8	宇都宮市	506	4	17	21	156,712	1	183	14	469	5	40,562	13	1,329	3	4,031	2	7.97	5	3.03	5
9	高崎市	370	6	2	8	85,346	12	130	24	125	26	34,170	19	944	14	1,814	21	4.90	19	1.92	29
10	前橋市	340	2	25	27	123,862	3	107	28	93	29	43,639	7	879	20	2,408	13	7.08	9	2.74	6
11	川越市	336	4	1	5	41,260	30	197	10	226	17	14,693	38	767	25	1,910	20	5.68	14	2.49	14
12	船橋市	598	4	6	10	115,168	6	220	8	484	4	43,186	9	1,296	5	2,504	11	4.19	27	1.93	28
13	柏市	394	1	17	18	60,485	23	98	33	389	7	34,463	17	929	15	2,386	14	6.06	12	2.57	12
14	横須賀市	425	4	9	13	8,887	41	234	6	386	8	33,193	21	846	22	1,624	26	3.82	30	1.92	29
15	富山市	417	1	24	25	132,750	2	105	30	251	16	34,267	18	886	19	1,989	17	4.77	21	2.24	22
16	金沢市	444	4	2	6	121,289	4	177	15	179	22	193,305	1	1,321	4	2,127	16	4.79	20	1.61	37
17	長野市	385	2	28	30	74,619	15	72	35	85	33	33,520	20	904	18	1,722	24	4.47	25	1.90	31
18	岐阜市	411	1	12	13	117,300	5	174	16	89	32	20,314	34	555	38	1,430	33	3.48	33	2.58	11
19	豊田市	408	1	31	32	102,060	9	295	2	222	19	52,979	4	1,610	1	4,130	1	10.12	1	2.57	12
20	岡崎市	366	2	9	11	59,282	24	184	13	257	14	27,777	28	839	23	2,635	9	7.20	8	3.14	4
21	豊橋市	366	2	75	77	51,910	28	197	10	77	36	30,459	26	918	17	1,429	34	3.90	29	1.56	38
22	大津市	333	3	1	4	38,523	31	-	-	197	20	26,023	30	750	27	1,561	29	4.69	22	2.08	24
23	東大阪市	488	4	2	6	63,000	22	41	38	256	15	56,420	3	724	28	1,979	18	4.06	28	2.73	7
24	豊中市	390	9	2	11	77,955	14	159	18	730	1	40,651	12	1,030	10	3,384	5	8.68	3	3.29	3
25	高槻市	356	5	2	7	105,224	8	154	20	448	6	72,259	2	1,387	2	3,117	6	8.76	2	2.25	21
26	姫路市	534	1	14	15	106,970	7	107	28	379	9	43,575	8	1,218	6	2,435	12	4.56	24	2.00	27
27	西宮市	471	4	7	11	64,038	21	146	21	696	2	38,008	15	986	11	3,841	3	8.15	4	3.90	1
28	尼崎市	460	2	22	24	36,803	35	160	17	180	21	24,695	31	713	30	1,524	30	3.31	35	2.14	23
29	奈良市	365	3	0	3	38,420	32	137	22	136	24	16,919	37	618	36	1,262	35	3.46	34	2.04	26
30	和歌山市	381	1	0	1	29,632	39	119	26	98	28	13,268	40	442	41	814	39	2.14	39	1.84	34
31	倉敷市	474	6	27	33	87,063	11	278	3	509	3	43,753	6	1,215	7	2,897	8	6.11	11	2.38	16
32	福山市	465	7	1	8	95,130	10	190	12	375	10	48,668	5	946	13	3,409	4	7.33	7	3.60	2
33	下関市	282	6	2	8	56,817	26	103	32	122	27	30,943	23	666	33	1,518	31	5.38	15	2.28	20
34	高松市	424	5	46	51	73,584	16	242	5	288	11	40,998	11	1,151	8	2,980	7	7.03	10	2.59	10
35	松山市	515	4	0	4	65,127	20	245	4	225	18	33,171	22	724	28	1,915	19	3.72	31	2.65	8
36	高知市	340	7	15	22	56,021	27	36	40	165	23	30,659	25	928	16	1,725	23	5.07	18	1.86	32
37	久留米市	303	6	0	6	71,037	17	66	36	72	37	42,948	10	701	31	1,623	27	5.36	16	2.32	17
38	長崎市	445	2	54	56	81,325	13	119	26	261	13	26,747	29	982	12	2,272	15	5.11	17	2.31	18
39	大分市	470	1	47	48	32,140	38	201	9	63	38	20,443	33	458	40	854	38	1.82	41	1.86	32
40	宮崎市	401	2	2	4	36,058	36	156	19	55	39	20,172	35	529	39	858	37	2.14	39	1.62	36
41	鹿児島市	603	1	12	13	57,995	25	311	1	93	29	36,567	16	862	21	1,767	22	2.93	36	2.05	25
平均		403 千人					69,145 千円	153 千人		229 千冊		36,687 冊		886 千冊		2,045 千冊		5.10 冊		2.27	

a 人口 H22.3.31住民基本台帳人口

出典：日本の図書館 2011

西宮市は、資料費、登録者数、購入冊数は平均的であるが、予約件数、貸出数、人口1人当たり貸出数、図書資料回転率は高い水準である。

学校図書館アンケート調査まとめ

平成24年5月25日調査

1 学校図書館の開館について

(1) 学校図書館が開いている曜日はいつですか

小学校

	月	火	水	木	金	土	日
小学校	35	37	37	36	36	0	0

小学校40校全てが土・日は開館していない。

小学校40校のうち月～金に毎週開館している学校は35校ある。

週3日は1校、週1日は4校。

中学校

	月	火	水	木	金	土	日
中学校	20	20	20	20	20	0	0

中学校20校全てが土・日は開館していない。

中学校20校全てが月～金を毎週開館している。

特別支援学校1校は月～金を毎週開館している。

(2) 学校図書館が開いている時間帯はいつですか

(定義)

終日とは	登校時から放課後まで開館している。
午前とは	登校時から始業時、授業と授業の合間の休憩時間に開館している。
午後とは	授業間の休憩時間、昼休み、放課後に開館している。
朝とは	登校時から始業時に開館している。
休み時間とは	授業と授業の合間の休憩時間に開館している。
昼休みとは	給食後の休み時間に開館している。
放課後とは	終業時から下校時に開館している。

小学校

	終日	午前	午後	朝	休み時間	昼休み	放課後
週5日	4	8	5	10	24	34	5
週4日	0	0	0	0	0	0	1
週3日	0	0	1	0	0	0	2
週2日	1	1	1	1	2	1	1
週1日	1	2	6	2	4	5	6
合計	6	11	13	13	30	40	15

中学校

	終日	午前	午後	朝	休み時間	昼休み	放課後
週5日	3	3	5	3	5	20	13
週4日	0	0	0	0	0	0	0
週3日	0	0	0	0	1	0	1
週2日	0	0	1	0	0	0	0
週1日	2	2	4	2	5	0	2
合計	5	5	10	5	11	20	16

特別支援

特別支援学校は、終日に週5日開館している。

(3) 長期休業日に開設している学校はありますか

小学校 夏休み30校、冬休み2校、春休み0校 平均およそ5日

中学校 夏休み20校、冬休み5校、春休み3校 平均およそ6日

2 学校図書館の運営について

(1) 学校図書館の運営にどのような方がかかわっていますか

小・中学校

主体となっているのはPTA（保護者）である。

元PTA（保護者）の方の協力を得て活動している学校は19校あった。

学校サポートにしのみや「ささえ」事業と答えた学校や地域の方の参加を答えている学校もあるが、多くの学校が「ささえ」事業の図書ボランティアとしてかかわっているものである。

人数は学校によってさまざまである。

- ・小学校でボランティアは20人未満の学校が7校、20人から50人未満の学校が36校、50人を超える学校が7校ある。

(2) どのような活動を行っていますか

小・中学校

	貸出カウンター業務	本の修理	書架への収納と整理	清掃	読み聞かせ
小学校	27	27	26	17	38
中学校	13	13	15	9	6
特別支援	0	0	0	0	0
合計	40	40	41	26	44

全ての活動を行っているのは小学校で12校です。中学校ではありません。

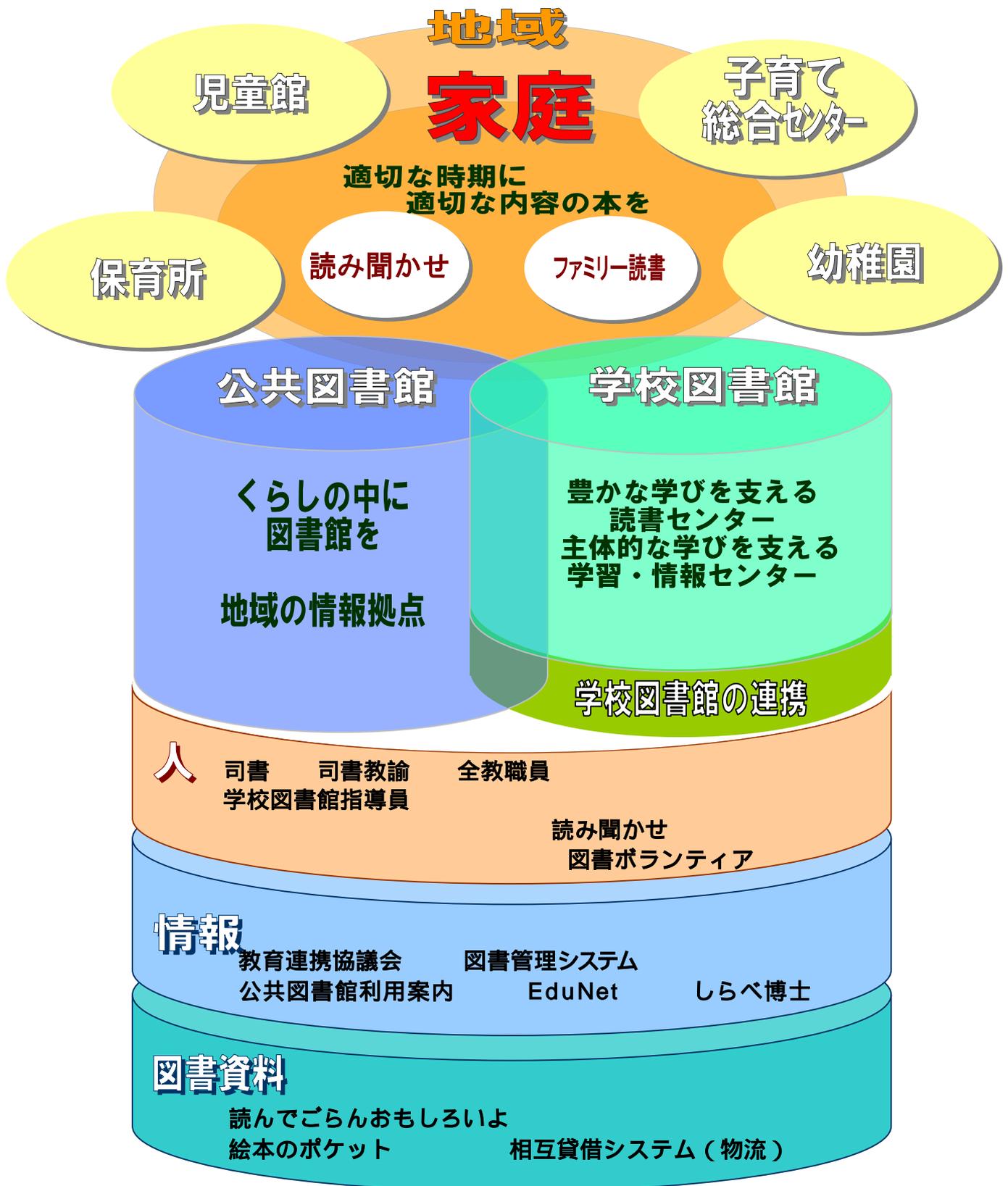
ボランティアの数と活動数や活動の有無は直接的な関係はないようである。ボランティアと活動の関係は学校の事情によるところが多いと推測できる。

3 学校図書館を地域に開放している学校はありますか

地域開放している学校はない。

以上

子どもの読書習慣定着のための環境整備



西宮市の学校図書館

学校文化の拠点となる学校図書館



西宮市子ども読書活動推進計画

平成24年度西宮教育推進の方向より

これからの図書館像 — 地域を支える情報拠点をめざして —

(これからの図書館の在り方検討協力者会議報告(平成18年3月))

